

## ◆第4学年 学習指導案◆「組曲を楽しもう」

教材：『動物の謝肉祭』より『終曲』  
『動物の音楽の終曲をつくろう』

八王子市立散田小学校  
第4学年1組 32名  
指導者 中川 眞理 主幹教諭

### 1 題材の目標

- (1) 曲想と音色，旋律の反復，変化による音楽の構造との関わりについて気付くとともに，音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。
- (2) 『終曲』のよさを見いだして曲全体を味わったり，自分たちがつくった組曲の最終曲を構成してつくることに思いや意図をもったりする。
- (3) 曲想と音色，旋律，反復，変化などとの関わりに興味をもち，主体的・協働的に聴いたりつくったりする活動に取り組み，組曲に親しむ。

### 2 題材について

#### (1) 研究主題との関連

##### ①児童の実態から

今年度から週2時間担当している。活動を楽しみ前向きに取り組む児童が多い。一方で自分の思いをもっていても，友達に伝えたり発表したりすることに苦手意識をもつ児童もいる。

音楽づくりでは，1学期に「リズムアンサンブルをつくろう」で8拍のリズムパターンを用いて構成を考える学習を，また，「新聞紙の音楽をつくろう」で新聞紙を音素材として音色を工夫し拍のない音楽をつくる学習をした。また，前題材の「動物の音楽をつくろう」では，動物の動きやイメージに合う音を打楽器や身の回りの物から探し，構成を工夫して拍のない音楽をつくる学習をした。

つなげ方や重ね方によって音楽の雰囲気が変わることに気づき，自分たちはどのような音楽にしたいのかについて友達と意見を交流しながら音楽づくりに取り組んだ。

鑑賞では『動物の謝肉祭』の全曲を学習した。

(年間指導計画参照) 音色・速度・強弱など音楽を形づくっている要素に着目して聴き，音楽の特徴を捉え，捉えたことと動物から想起するイメージとの関わりにつくることができた。

本題材では鑑賞で学習した内容から音楽づくりの発想を得て，前題材でグループごとにつくった音楽の一部を用いて学級全体で終曲をつくる。その後，学級で一つの組曲をつくるために，グループでつくった音楽の演奏順を工夫して表現する。組曲を聴いたりつくったりする中で，友達と思いや意図を交流しながら組曲に親しむようにする。

##### ②題材の意義から

研究主題「見つけよう 深めよう 生かそう 音楽を」を，本題材では以下のように捉えた。

**見つけよう** 本題材では『動物の謝肉祭』の『終曲』を聴いて特徴やよさに気づき，音楽づくりのヒントを見付けるようにする。組曲を構成している各曲の特徴的な部分が繰り返されたり誇張されたりして演奏されていることを聴き取り，組曲における終曲の役割に気付くようにする。

**深めよう** 鑑賞と音楽づくりの活動で，気づきや思いを友達と話し合い，音で試すようにする。友達と関わり合う中で，気づきを再確認したり，新たな聴き取りや表現を見いだしたりするようにする。

**生かそう** 鑑賞で感じたことの根拠を見付ける聴き方を身に付けることは，今後の学習や生活の中で新たに出会う音楽を主体的に聴くことにつながると思う。また，鑑賞したことを生かし組曲をつくるという学習を通して，作曲家の意図を知り，音楽をより身近に感じることができるようになると考える。

#### (2) 学習指導要領との関連

【A表現：音楽づくり】(3) ア(イ)・イ(イ)・ウ(イ)

【B鑑賞】(1) ア・イ

本題材において，児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素

ア 音色，旋律

イ 反復，変化

### 3 教材について

- 『動物の謝肉祭』より『終曲』 サン・サーンス 作曲  
出典CD アンドレ・プレヴィン指揮 ピッツバーグ交響楽団 PHCP-6038 1分57秒

4分の4拍子 ハ長調 Molto allegro

全14曲からなる『動物の謝肉祭』の終曲。組曲に表現された特徴的な旋律が主題を挟みながら再現され、反復、変化を繰り返しながら組曲を締め括る。

『序奏と獅子王の行進』冒頭部分の上行音型とピアノの華やかなグリッサンドで曲が始まる。

『主題』リズムカルな旋律がピッコロとフルートで演奏される。

『ろば』ろばが疾走するかのごとく、ピアノで上行下行音型が繰り返される。

『主題』弦楽器も加わって、更ににぎやかに演奏される。

『めんどりとおんどり』連打と5度の跳躍音程は、にわたりの鳴き声そのものにきこえる。

(『象』最後のフレーズが再現されているが、聴き取ることが難しいため、今回は取り上げない。)

『カンガルー』カンガルーが跳ねているように、装飾音符を伴った上行下行旋律が繰り返される。

『耳の長い登場人物』印象的な跳躍音程が瞬時に表れて消え、華やかに終わる。

組曲を構成している各曲の最も特徴的な部分が、反復、変化しながら表れることに気付くために「動物探し」をする。音色や旋律の特徴に着目して聴き取り、終曲が組曲の締め括りとしてどのような働きをしているかに気付き、その面白さを感じ取るようにする。そして聴き取ったことや感じ取ったことから音楽づくりの発想を得て、終曲づくりや組曲として構成する学習につなげるようにする。

- 組曲『動物の謝肉祭』全曲 サン・サーンス作曲

出典DVD 山本直純指揮 日本フィルハーモニー交響楽団 ONK-502

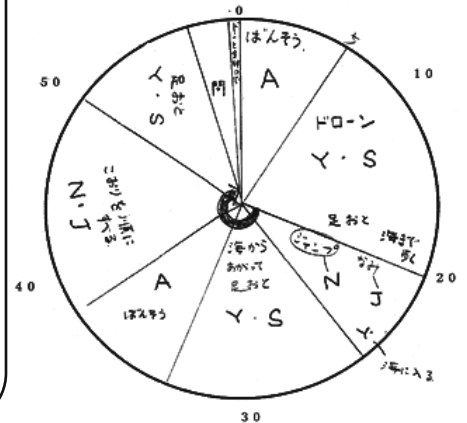
- 絵本「動物たちのカーニバル」 詩：谷川俊太郎 絵：広瀬弦 評論社

#### ● 「動物の音楽の終曲をつくろう」

前題材「動物の音楽をつくろう」では、簡易打楽器や新聞紙、しゃもじ、ペットボトル等の身の回りにある物を音素材とし、動物から想起するイメージと音色、強弱、反復、変化、呼びかけとこたえ等の音楽の構造との関わりを生かしながら、グループごとに1分程度の拍のない音楽をつくった。(右記学習カード)

本題材では、グループごとにつくった音楽の特徴的な部分を持ち寄って学級の組曲の終曲を構成する。その際、音や音楽の特徴からどの順で表現するか、始め方や終わり方などについて話し合ったり、音を出して試したりしながらつくるようにする。さらに、グループごとにつくった音楽の演奏順を話し合い、児童がつくった終曲を最後に付けて、学級の組曲を完成させる。『動物の謝肉祭』の鑑賞から得た発想を生かし、思いや考えを友達と交流して組曲をつくる楽しさを味わうようにする。

児童の作品例(Aグループ5名)  
「ペンギンのさんぽ」



### 4 研究主題に迫るための手立て

#### 視点1 「見つけよう」主体的な学びの視点からの学習過程の工夫

##### ① 音や音楽との出会いの場の工夫

- ・ 曲名を伏せて聴いた初発の感想から、これまでに学習した『動物の謝肉祭』の旋律に気付くようにする。再度、鑑賞する際に、児童の発言の中から聴く観点を示し主体的に活動できるようにする。
- ・ 友達と協力して「動物探し」をするために、グループごとで繰り返し音楽を聴いたり話し合ったりする。気付きを交流し、「動物探し」の課題を楽しみながら意欲的に活動できるようにする。

##### ② 見通し、振り返りを大切にした学習の工夫

- ・ 初発の感想で出された児童の発言を記録し、題材を通して活用する。児童の言葉を用いながら、

聴き深める場面、音楽づくりを工夫する場面で適宜取り上げ、全体で共有する。

- ・第1時の板書内容を記載したワークシートを作成して第2時に配布し、上段に気付いたこと、下段に感じたことを書き加えるようにする。（6題材の指導計画と評価計画参照）第1時に児童が気付いた音楽の特徴と曲想との関連について考えたり、新たな気付きについて話し合ったりして聴き深めるようにする。
- ・第2時でワークシートに記入した『終曲』のよさや面白さと、聴き取りや話し合いの中で出てきた『終曲』の構成に関わる発言の記録を、第3時の音楽づくりの場面で書画カメラを使って共有できるようにする。

## 視点2 「深めよう」学びを広げ深める、対話を生かした学習の充実

### ① 児童同士の対話を生かした学習活動の工夫

- ・どの動物の旋律がどのように表れるかについて、個々に聴き取ったり感じ取ったりしたことを、グループや全体で意見交流することで自分の考えを再確認したり、考えを深めたりする。
- ・前題材でグループごとにつくった音楽の特徴的な部分を用いて終曲をつくる。また、グループごとにつくった曲の演奏順を工夫して組曲をつくる。その過程で気付いたことやその理由を言葉で交流したり、実際に試したりして確かめながら、学びを広げたり深めたりする。

### ② 学びを深める教師の関わり方の工夫

- ・「『パレードみたい』と感じた理由を気付いたことの中から見つけましょう」「静かな感じからだんだんとにぎやかな音楽にするには、音楽をどのようにつなげるとよいでしょう」などと働きかけ、曲想と音楽の構造との関わりについて考えるようにする。

### ③ 様々な人との交流、音や音楽との対話による考えや表現の再構築

- ・前題材でつくった「動物の音楽」の中から終曲に使いたい部分を選ぶ過程で、「一番面白いところやよいところ」という新たな視点で自分たちの音楽と対峙する。その際、音を出したり話し合ったりする中で、自分たちの音楽の特徴やよさを再発見するようにする。

## 視点3 「生かそう」学びを生かし、つなげる指導と評価の工夫

- ・児童の思考の深まりを促す教師の発問、様々な児童の状況に応じた教師の助言、指導の手立てを指導計画に記載する。
- ・題材の終わりに学習を振り返り、分かったことやできるようになったことを話し合い、児童が自らの学びや成長を自覚し、今後の学習に生かすことができるよう促す。

## 5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①曲想と音色、旋律の反復、変化による音楽の構造との関わりについて気付いている。 ②音のつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ③思いや意図に合った表現をするために必要な、反復や変化を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。	①音色、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、組曲の最後に演奏される『終曲』のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ②音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	①曲想と音色、旋律、反復、変化などとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたりつくったりする学習活動に取り組もうとしている。

6 題材の指導計画と評価計画

4 時間扱い

時	○ 学習内容 ・ 学習活動	◇ 教師の働きかけ T「教師の発問や価値付け」	◆ 評価規準 (評価方法)
<p>&lt;第一次のねらい&gt; 『終曲』の曲想と音色，旋律の反復，変化による音楽の構造との関わりに気づき，曲のよさを味わう。</p>			
1 本時	<p>○曲想と音色，旋律の反復，変化による音楽の構造とを関わらせながら聴き，『終曲』の特徴に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『終曲』を聴く。</li> <li>気付いたことや感じたことを交流する。</li> <li>学習の見通しをもつ。</li> <li>グループで『終曲』を聴く。</li> <li>聴き取った旋律を全体で共有する。</li> <li>グループで『終曲』を聴く。</li> <li>グループごとの気づきについて全体で話し合ったり，聴いて確かめたりする。</li> </ul>	<p>◇児童の発言を記録し，題材を通して活用する。(視点1-②)</p> <p>◇話し合う中で，既習の『動物の謝肉祭』の中の旋律がいくつか出てきたことを取り上げ，グループで確かめるように話す。(視点1-①)</p> <p>◇児童のつぶやきを拾いながら，音色や旋律の特徴から想起する動物を既習の曲から探すように声掛けをする。</p> <p>T「その動物は音楽のどのあたりにいましたか」等，1回目の聴き取りを調整している状況に応じてめあてを示す。(視点1-①)</p> <p>◇児童の話し合いの内容を確かめるために，必要に応じて部分的に聴いたり，元の曲と比べて聴いたりするようにする。(視点2-①)</p> <p>★&lt;Aと判断される児童の状況&gt;&lt;Cと判断されるような状況への手立て&gt;は本時案 参照。</p>	
2	<p>○曲想と音色，旋律の反復，変化による音楽の構造との関わりについて考え，曲のよさを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『終曲』を数回聴く。</li> <li>気付いたことや感じたことをワークシートに書き，全体で交流する。</li> </ul>	<p>◇前時の学習を共有するために，板書内容を記録したワークシートを配布する。(視点1-②)</p> <p>◇初発の意見の記録を掲示し，前時に取り上げなかった意見に着目するようにする。(視点1-②)</p> <p>◇発言を取り上げ，気付いたことや感じたことが曲のどのあたりにかを，矢印や動物の名前の短冊で整理しながら板書して確かめる。(視点2-①)</p>	

The worksheet contains the following handwritten notes:

- 気付いたこと (Noticed things):**
  - 序奏と王の行進: 速い, フルトの音, はねるおばりズム
  - 間奏(テーマ①): 高い音(ピアノ), たくさん強く高くなる
  - ろば: 速いピッチ, 高音→低い音
  - 間奏(テーマ②): ①とにているけど, すししあう, バイオリンの音
  - めんどりとおんどり: 速くかわる
  - カンガルー: おはべり, とびあがる, おいかげ, 行ったり来たり
  - 耳の長い登場人物: いろいろな楽器 (ピッコロ, バイオリン, 鉄琴...), とんたん強く, 元の音楽はすししあう
- 感じたこと (Felt things):**
  - 始まるぞドキドキ
  - 王さまが入ってくるみたい
  - 明るい, 1パレードみたい
  - 広場であそんでいる
  - 走っている, レスしている
  - 楽しそう, 仲間がふえた, おどっている
  - にぎやか, もりあがる, 全員集合!
  - もうすぐ終わるよ, おまつり, パーティ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「感じたこと」の理由を「気付いたこと」から見付ける。</li> </ul>	<p>T「パレードみたいと感じた理由を気付いたことの中から見付けましょう」 (視点2-②)</p>	<p>◆知① 〈行動観察 ・発言内容・ワークシート 第1時から第2時を通し継続して観察〉</p> <p>◆思・判・表① 〈行動観察 ・発言内容・ワークシート〉</p>
<p><b>【予想される児童の発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間に出てくる音楽がパレードみたいなのは、フルートの高い音やはねるようなリズムと関係がある。</li> <li>・最後はたくさんの楽器を使っているから動物が大集合しているみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ペアや全体で話し合いながら、板書の気付いたことと感じたことを線で結ぶ。(視点1-②)</li> <li>◇発言内容について確かめるために、部分的に聴くようにする。</li> </ul>	
<p>〈Aと判断される児童の状況例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音色、旋律の反復、変化による音楽の構造との関わりで気付いて発言したり、感じたこと理由を気付いたことの中から見付け、線で結んだり言葉でワークシートに記入したりしている。</li> </ul> <p>〈Cと判断されそうな状況への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何の楽器の音が聴こえるか問いかけ、旋律に合わせて手を動かしたり口ずさんだりするよう助言する。</li> <li>・感じ取ったこと理由を友達の発言や板書の中から選ぶよう助言する。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・『終曲』を通して聴き、曲のよさや面白さをワークシートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇話し合った内容を参考にして、自分の思いや考えを書くよう助言する。</li> </ul>	
<p>〈Aと判断される児童の状況例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲のよさと、音色、旋律の反復、変化による音楽の構造などを関連付けてワークシートに記入している。</li> </ul> <p>〈Cと判断されそうな状況への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この曲のよいところは～です。なぜかという～だからです」等の話型を示し、友達の発言内容や板書中の言葉をヒントにするよう助言する。</li> </ul>		
<p>〈第二次のねらい〉音楽をつくったり、聴いたりして組曲を楽しむ。</p>		
<p>3 ○鑑賞した『終曲』のよさを生かして、全体で「動物の音楽の終曲」をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『終曲』を聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇前時のワークシートから、記述内容を振り返るようにする。</li> </ul>	<p>◆知② 〈行動観察 ・発言内容 ・演奏聴取〉</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前題材でグループごとにつくった「動物の音楽」を表現しながら、終曲で再現したい部分を考え、音を出して試す。</li> <li>・選んだ部分を紹介し合う。</li> </ul>	<p>T「終曲に使いたい部分を選びましょう。一番よいところや面白いところはどこですか」(視点2-③)</p>	
<p><b>【予想される児童の発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イルカがジャンプするときの水の音にしました。1回だと短いので2回くりかえしました。イルカと分かりやすいし、新聞紙の音の出し方を工夫したところをきかせたいから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇反復や変化を生かした表現をしているグループがあれば取り上げて価値付け、共有するようにする。(視点2-①)</li> <li>◇選んだ理由や感想を伝え合うようにする。</li> </ul>	
<p>〈Aと判断される児童の状況例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終曲に使いたい部分を選んで試し、音色や音のつなげ方の特徴と、それらが生み出すよさや面白さを関連付けて発言したり、選んだ理由を発言したりしている。</li> </ul> <p>〈Cと判断されそうな状況への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前題材の「動物の音楽をつくらう」で使用したワークシートを示し、つくった音楽の記録を見ながら、「好きなどころを一つだけ選ぶとしたらどこですか」「どんなところがお気に入りですか」などと問いかけて、気付きを促す。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏順を話し合いながら、グループが選んだ部分をつなげて表現し、終曲をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇第一次、鑑賞の話し合いの記録を書画カメラで示し、終曲づくりのヒントにするように促す。(視点1-②)</li> <li>◇つなげ方について発言を促したり、同</li> </ul>	

<p><b>【予想される児童の発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しずかな音楽で始めて、だんだんにぎやかにしたいから、○班、○班の順がいいと思う。</li> <li>・静かな感じからとつぜんはげしい感じになるのもおもしろいと思う。</li> <li>・白鳥グループとイルカグループは、どちらも新聞紙で水の音を表現しているから、続けないではなした方がいいと思う。</li> </ul>	<p>じ考えに対して挙手するようにしたりして、意見を出し合いながらつなげる順を工夫して試すようにする。</p> <p>T「静かな感じからにぎやかな感じにするにはどのように音楽をつなげたらよいでしょうか」(視点2-②)</p> <p>◇グループでつくった動物の名前の短冊を準備し、話し合いの過程で演奏順を提示したり、始め方や終わり方を追記したりして、視覚的に共有するようにする。(視点2-①)</p>	<p>◆思・判・表② 〈行動観察 ・発言内容 ・演奏聴取〉</p>
<p>〈Aと判断される児童の状況例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友達がつくった音楽の音や音のつながりが生み出すよさや面白さを感じ取り、どのような順で表現するか、始め方や終わり方をどのようにするかについて自分の思いをもち、発言したり表現したりしている。</li> </ul> <p>〈Cと判断されそうな状況への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見の中から自分の考えに近いものを選ぶようにしたり、教師や友達の表現を聴き比べどちらがよいかを問いかけたりして、自分の思いに気付くようにする。</li> </ul>		
<p>4 ○組曲のよさや面白さを見いだしながら表現したり聴いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前題材でグループごとにつくった「動物の音楽」の演奏順を、学級全体で決める。</li> </ul>	<p>◇各グループでつくった音楽と終曲を順に演奏して一つの組曲にすることを伝える。</p> <p>◇発言内容を整理して板書したり、実際に表現するように促したりして演奏順を決めるよう援助する。</p>	
<p>〈Aと判断される児童の状況例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや意図に合った終曲にするために、反復や変化を生かしたり、始め方や終わり方を工夫したりして終曲をつくっている。</li> <li>・演奏順についての考えをもち、発言したり試したりしながら組曲をつくっている。</li> </ul> <p>〈Cと判断されそうな状況への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反復や変化を生かしている友達の表現をヒントにするように声かけしたり、演奏順や始め方・終わり方を例示したりして、音楽づくりを促す。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・決めた順の後に前時につくった終曲をつなげ、組曲として演奏する。</li> <li>・絵本「動物たちのカーニバル」の読み聞かせを聞き、組曲『動物の謝肉祭』のDVD(抜粋)を視聴する。</li> <li>・学習を振り返り、話し合う。</li> </ul>	<p>◇学級の組曲の仕上げの演奏であることを伝え、音楽全体を聴きながら表現するよう助言する。</p> <p>◇詩と絵の表現のよさに触れたり、実際に演奏する様子を見たりしながら、楽しんで聴くようにする。</p> <p>T「組曲の学習をして分かったこと、発見したこと、できるようになったこと、いいなと思ったことなどを発表しましょう」(視点3)</p>	
<p>〈Aと判断される児童の状況例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴いたりつくったりする活動に進んで取り組み、発言やワークシート、手や体の動き等で自分の思いや考えを表現している。</li> <li>・友達と関わりながら音楽を繰り返し聴いて、特徴を見付け出そうとしている。</li> <li>・友達の考えを聞いて自分の考えを再確認したり、友達の考えを取り入れたりしながら表現を工夫し様々に試している。</li> </ul> <p>〈Cと判断されそうな状況への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発言や板書の内容、音楽を形づくっている要素の掲示物、話型などを適宜示したり、児童の表現やつぶやきを価値付けたりして活動を促す。</li> </ul>		<p>◆態① 〈行動観察 ・発言内容 ・ワークシート 第1時から第4時を通し継続して観察〉</p>

## 7 本時の展開

### 1 時間目

#### (1) 本時のねらい

曲想と音色、旋律の反復、変化による音楽の構造との関わりについて気付く。

#### (2) 本時の展開

○ 学習内容 ・ 学習活動	◇ 教師の働きかけ ◆ 評価規準〈評価方法〉
<p>○曲想と音色、旋律の反復、変化による音楽の構造とを関わらせながら聴き、『終曲』の特徴に気付く。</p> <p>・『終曲』を聴く。 <b>1回目</b></p> <p>・気付いたことや感じたことを交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【予想される児童の発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前に聴いたことがあるな。</li> <li>・聴いたことがある音楽もあったけど、はじめて聴く音楽もあった。</li> <li>・『ろば』みたいな音楽が出てきた。</li> <li>・最後はすごくもり上がった。</li> <li>・いろいろな楽器の音がした。</li> <li>・パレードみたい。</li> <li>・速い。</li> <li>・ワクワクするような音楽。</li> </ul> </div> <p>・学習の見通しをもつ。</p>	<p>◇曲名を伏せ、聴いた後に気付いたことや感じたことを発表することを伝える。</p> <p>◇児童の発言を記録し、題材を通して活用する。 <b>(視点1-②)</b></p> <p>◇『動物の謝肉祭』の旋律に関わる発言以外は、次時以降に確かめることを知らせ、記録しておく。 <b>(視点2-①)</b></p> <p>◇既習した組曲『動物の謝肉祭』13曲の題名を音楽室内に提示し、学習を振り返ることも想定しておく。 <b>(視点1-①)</b></p> <p>◇組曲『動物の謝肉祭』の最後に演奏される『終曲』であることを知らせる。</p> <p>◇話し合う中で、既習の『動物の謝肉祭』の中の旋律がいくつか出てきたことを取り上げ、グループで確かめるように話す。 <b>(視点1-①)</b></p>
<h3>『終曲』に出てくる動物のせんりつを見つけましょう</h3>	
<p>・指定された場所でグループごとに『終曲』を聴く。 <b>2回目</b> <b>3回目</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【予想される児童のつぶやきや反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初のピアノの音は王様が入ってくるみたいだから『しし王の行進』じゃないかな。</li> <li>・速いところは『ろば』だよ。</li> <li>・なんだったかなあ。リズムがはねているな・・・カンガルーだ。</li> </ul> <p>(既習の学習を想起している状況)</p> </div> <p>・聴き取った動物をグループごとに教師に伝える。</p> <p>・グループごとに聴き取った旋律を全体で共有する。</p>	<p>◇音楽室とその周辺のスペースに間隔を空けてCDとCDデッキを準備しておく。(4人×8グループ)</p> <p>◇グループで2回聴くことを伝える。</p> <p>◇児童のつぶやきを拾いながら、音色や旋律の特徴から想起する動物を既習の曲から探すように声掛けをする。 <b>(視点2-②)</b></p> <p>T「旋律に合わせて手を動かしてごらん」 T「グループで協力して全員が気付けるようにしようね」</p> <p>◇それぞれが意欲的に取り組めるよう、他のグループには気付いた内容を知らせないようにする。</p> <p>◇グループごとの聴き取った記録を書画カメラで共有し、聴き取った動物について話し合うようにする。 <b>(視点2-①)</b></p>

- 全体が聴き取った旋律を確認したり、新たな気付きを発見したりするために、指定された場所でグループごとに『終曲』を聴く。

**4回目** **5回目**

**【予想される児童のつぶやきなど】**

- はじめの方で、速くて上がったり下がったりしているのが『ろば』だよ。
- 『カンガルー』は、はねながら行ったり来たりしているところ。(手の動きで旋律を表しながら)
- バイオリンの「キュッ」という音は『耳の長い登場人物』じゃないかな？
- 前にきいたのはちょっとちがうね。
- 『めんどりとおんどり』はすぐに終わっちゃうよ。

- グループごとに確かめたことや、新たに気付いたことについて、全体で話し合ったり聴いて確かめたりする。**6回目**

**【予想される児童の発言】**

- 間の音楽は2回出てきました。1回目と2回目は少しちがって、2回目の方が楽器が増えていると思う。
- 『ろば』は(板書の音楽矢印の1部分を指し示しながら)このあたりにいました。
- 『カンガルー』の元の音楽は、はねるところと休むところが交代で出てきたけれど、最初の方だけ出てきた。
- 『耳の長い登場人物』の「キュッ」という音がきこえたけれど、すぐに終わった。
- 『めんどりとおんどり』はあつという間におわって『カンガルー』が出てきておもしろい。

T「その動物は音楽のどのあたりにいましたか」「前に聴いたその動物の音楽を思い出してみよう」等、1回目の聴き取りを調整している状況に応じてめあてを示す。(視点1-①)

- ◇必要に応じて音楽を止め、気付いたことを交流するように促す。(視点2-①)
- ◇グループで話し合う中で、他のグループの発表内容や音楽のどのあたりに表れるかについて気付くように声かけをする。(視点2-②)

- ◇旋律の特徴についての発言を取り上げながら、元の旋律が再現されたり誇張されたりしていることに気付くようにする。
- ◇児童が聴き取れなかった場合は曲名を告げ、その動物の旋律が出てきたら挙手をしたり、旋律を口ずさんだりして想起するようにする。
- ◇児童の話し合いの内容を確かめるために、必要に応じて部分的に聴いたり、元の曲を聴いたりするようにする。
- ◇発言を取り上げながら、今までに学習した動物の旋律がいくつも表れることと、「ワクワク」「楽しい」などの初発の感想との関わりに着目するようにする。(視点2-②)

◆曲想と音色、旋律の反復、変化による音楽の構造との関わりについて気付いている。  
知識①〈行動観察・発言内容〉

〈Aと判断される児童の状況例〉

- 終曲が、組曲の各曲の特徴的な部分を再現したり変化させたりして構成されていることに気付き、曲想と関わらせながら発言したり、口ずさんだり、手の動きで旋律を表したりして、音楽の特徴を感じ取っている。

〈Cと判断されそうな状況への手立て〉

- 教師や友達の手動きを見たり、掲示物を見たりしながら既習の旋律を想起し、旋律と動物のイメージを関わらせて音楽の特徴に気付くようにする。

助言者の言葉

新しいことはいつだって無謀で無計画で前例がなく保証がないところからしか生まれてこないのだ。鹿子裕文さんの「へろへろ」という書籍から

私たちが知る限り、前例が無いから失敗するかどうか分からない。だから実行して振り返ればいい。このような思いから本題材は生まれました。「動物の謝肉祭」14曲を題材構成する研究はメンバー全員が苦しく、楽しかったと思います。児童の思いを大切にす教師になりたくて。。

八王子市立緑ヶ丘小学校 講師 大塚 美保